

## 市長賞



作品名 秋の剣岳

作者 内田嘉弘

作者のコメント

剣岳は、好きな山の一つで春、夏、冬とよく出掛け岩稜、雪溪と歩き、雪と岩の剣岳は描いたのですが、秋は今回が初めてでした。

立山の別山乗越から剣沢に下り、池の平まで来ると、仙人池の向こうに紅葉が広がり、秋真っ盛り、その上に針峰の剣岳が聳えていました。スケッチブックを広げ水彩で描き、帰宅後油彩に仕上げました。

## 京田辺市教育委員会賞



作品名 夕暮の甘南備山

作者 濱北 岬

作者のコメント

見慣れた田園風景、春の新緑もすばらしいです。

夕日に映える紅葉した甘南備山はことさらにすばらしく感動します。

我が田辺の里山、大事にしたいです。

## 京田辺市芸術家協会賞



作品名 一休寺・夏

作者 木下 八千代

作者のコメント

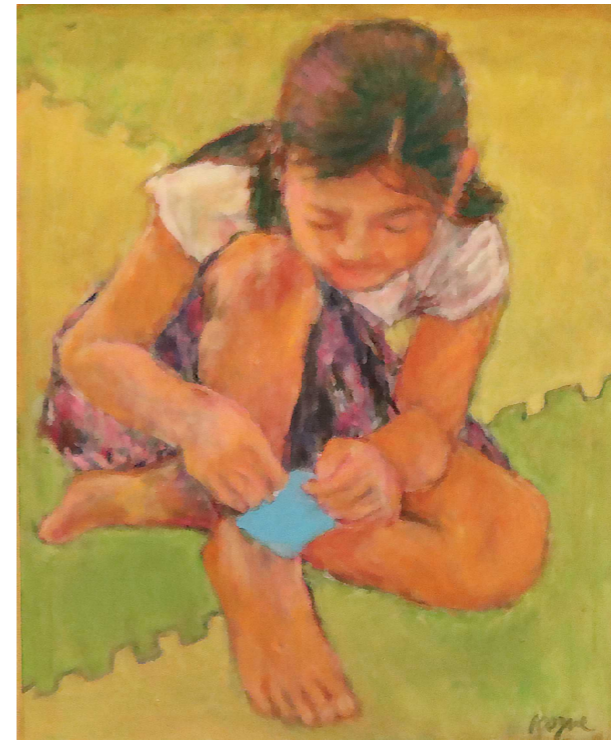
一休寺(酬恩庵)は、訪ねてみたいと思いつつ一度も訪れることがなかった秋の紅葉の美しさは見聞きしている。

では、夏の一休寺はどうなのかと、あえて暑い時期と時間を選び、7月初旬、酬恩庵を訪ねた。

参道は静寂。木々と地面を覆う苔が同化し、そこは緑の小宇宙のようだった。幼少のころ禅寺で遊んでいたことや、母の実家の庭を囲む外壁の色あせた様などが思い出されて懐かしい感覚になりました。

本堂の濡れ縁に腰かけて爽快な気持ちになっていました。そして、夏の一休寺のまぶしすぎるくらいの緑の小宇宙を表現したいと思い制作しました。

## 京田辺市文化協会賞



作品名 無心

作者 千々岩 こずえ

作者のコメント

離れて住む初孫に久しぶりの訪問で垣間見た時です。

いつまでも幼児の印象が強かったのですが、小さな布ぎれに無心で取りくむ少女の姿・表情には、感慨深いものがありました。この一瞬の表情を自分の中にとどめておきたいと思い、制作しました。

審査員  
の講評

出品作品として、意外と小品が多かったように思えた。可能な限り大きな作品を描こう。

今回は「うまさ」よりは、「あじ」のある作品を選ばせてもらった。

「秋の剣岳」には、山の峰を一つずつ描き切った面白さが目立った。

「夕暮の甘南備山」は地元の夕焼けをドラマチックに描いたものである。

「一休寺 夏」は筆慣れた一品であった。

「無心」は難しい構図をわかりやすく描いた一品である。

また「あじ」のある作品と来年も出合えればと思う。